

# A 総合的な学習の時間における育成をめざす「資質・能力」

## 育成をめざす「資質・能力」

◎ 探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えることを通して、次のとおり資質・能力を育成することをめざす

- (1) 課題（学習対象）に関する概念的知識を獲得し、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、探究的な学習のよさを理解するようにする
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成する
- (3) 主体的・協同的（協働的）・探究的な学習に取り組み、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画する態度を育てる

別添18-1「総合的な学習の時間において育成を目指す資質・能力の整理」（別添資料P.109）及び18-2「総合的な学習の時間における教育のイメージ」（別添資料P.110）より作成

(1) 知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力 (3) 学びに向かう力・人間性等

### 資質・能力を育成する学びの過程：探究プロセス

㊦「課題の設定」→㊧「情報の収集」→㊨「整理・分析」→㊩「まとめ・表現」

- ・各教科等の「見方・考え方」を働かせる
- ・複雑な事象を多様な角度から把握
- ・実生活の複雑な文脈の中で物事を考える
- ・自分の在り方生き方と関連付けて考える など

資質・能力を育成する学びの過程の順序は決して一定ではなく、柔軟な対応が求められます。児童生徒にとっては試行錯誤を繰り返すことによりこうした過程を行ったり来たりすることも重要であり、時には失敗したり立ち止まって前提を疑って考えることがあってこそ探究的な学びです。



## 各学校で考えてみましょう

- ▶ 別添18-1 「総合的な学習の時間において育成を目指す資質・能力の整理」を読んで具体的な単元目標の設定をしてみましょう。

## B 総合的な学習の時間における「見方・考え方」

### 「見方・考え方」

#### 【探究的な見方・考え方】

各教科等における見方・考え方を総合的(・統合的)に活用して、  
広範(かつ複雑)な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、  
実社会や実生活の文脈や自己の(在り方)生き方と関連付けて問い続けること

各教科等の見方・考え方を総合的な学習の時間で総合的・統合的に活用します。そうすることにより、各教科等の見方・考え方が多様な文脈で使えるようになるなどして確かなものになっていきます。そのようにして、各教科等の「深い学び」を実現することになります。



なお、学びの過程において困難さを感じる児童・生徒への対応も必要です。

◇指導の工夫、手立ての例については、こちらまで 

クリック

#### 各学校で考えてみましょう

- ▶ 実際に各教科等の見方・考え方を総合的な学習の時間で活用するためには、各教科の授業と総合的な学習の時間の双方において具体的にどのような授業改善を行うことができるでしょうか。

# C 総合的な学習の時間の改善・充実



## 構成の見直し

### 〈小学校・中学校〉

- ・各教科等に応じた「見方・考え方」を総合的に働かせながら、自ら問いを見だし探究することができる力を育成
- ・探究的な学習が自己の生き方にかかわるものであることに気づくようにする



### 〈高等学校〉

- ・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を総合的・統一的に働かせること
  - ・自己の在り方・生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら「見方・考え方」を組み合わせさせて統合させ、働かせながら、自ら問いを見だし探究することのできる力を育成するようにする
- このため、総合的な学習の時間については、名称を「総合的な探究の時間」などに変更することも含め位置づけを見直す

## 教育内容の見直し

### 〈学習課題〉

国際理解、情報、環境、福祉、健康などの横断的な課題や地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題など

教科横断的な課題については、総合的な学習の時間で扱うだけでなく、各教科等の学習と関連付け、全体としてどのような資質・能力を育成していくかという視点も重要です。



## 持続可能な社会という視点

### 〈持続可能な開発のための教育(ESD)〉

- ・次期学習指導要領改訂の全体において基盤となる理念であるが、そこで求められている資質・能力(国立教育政策研究所の整理によれば、「多様性」「相互性」「有限性」「公平性」「連携性」「責任性」といった概念の理解、「批判的に考える力」「未来像を予測して計画を立てる力」「多面的・総合的に考える力」などの力)は、総合的な学習の時間で探究的に学習する中で、より確かな力としていくことになる

## 情報活用能力の育成、プログラミング的な思考や社会との関わりの視点

### 〈情報活用能力〉

- ・総合的な学習の時間においては、情報の集め方や調べ方、整理・分析の仕方、まとめ方や表現の仕方などの教科横断的に活用できる「学び方」を身に付け、学習の課程において情報手段の操作もできるようにすることが求められる

### 〈プログラミング的な思考〉

- ・プログラミングを体験することが、総合的な学習の時間における学びの本質である探究的な学習として適切に位置付けられるようにすることとともに、児童一人一人に探究的な学びが実現し、一層充実するものとなるように十分配慮することが必要である。